

## 第2学年 英会話科学習指導案

平成29年 11月 9日(木)

1 単元名 色で遊ぼう／Which paper do you want?

2 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、英会話の学習に対して興味関心をもち、大変意欲的に取り組んでいる。スキットの会話練習では、聞いたものをそのまま間違えを恐れず声に出してリピートする姿や、新しい英単語などもリズムに乗せて身体表現をすることで、楽しくインプットして学んでいる。また、日常生活の中でも、英語の歌を口ずさんだり、スキットの会話をつぶやいたり、さらには、ALTとの合同給食では積極的に英語で質問したり、英語が身近であることが伺える。

「あなたは英語が好きですか」「外国人に会ったとき、英語を使いたいですか」の問いに「はい」「どちらかといえははい」と答えた児童は8割を超えている。日常生活でも英語に親しんでいる様子からこのことは裏付けられる。

Eータイムが好きな理由として、「歌やダンスが楽しい」「友だちと会話できる」「スキットの練習ができる」ことを挙げている児童が多い。児童達は、歌やダンスなど全身を動かしながら学習することを好んでいる。補充語句やスキットの練習ではチャンツやリズムに合わせたり、ジェスチャーを交えたりすることで楽しく活動できている。また、ゲームやクイズ形式でスキット練習をすることで、飽きずに会話を楽しんでいると考えられる。

EータイムLでは、Eータイムが好きな理由に加えて「ALTの先生と話することができる」「ゲームが楽しい」「ストーリータイムが楽しい」ことを挙げている。ゲームを通して自分の好きなものを選んだり、友だちと協力したりすることで楽しさや喜びを感じていることが大きな理由だと考えられる。また、児童にとって身近な外国人であるALTと触れ合い、会話ができることも大きな楽しみだと考えられる。しかし、楽しさのあまり学習課題からそれてしまわないように、常に課題を意識させ、目的をもって活動させたい。

<図1省略>

また、それぞれの質問に対して、「どちらかといえはいいえ」「いいえ」と答えた児童がそれぞれ3～6人いることは見過ごせない。その理由として、「発音が難しい」「何と話したらいいのか分からない」「はずかしい」などを挙げている。EータイムやEータイムLを通して、スキットの定着を図り自信をもてば、英語を好きになったり、外国人と話したいと思えるようになることを考える。スキットの定着にインプットとアウトプットのバランスを考え、全員が英語を好きになるように努めていきたい。

(2) 本単元の意図

平成29年3月告示の小学校学習指導要領に、高学年によるスモールトークが設定された。本単元では、このスモールトークに繋がるような活動をしたと考えた。会話を続けるためには、自分の気持ちや考えを伝えようとする態度を育成することと会話を繋げる言い方を知ることが不可欠であると考え、活動を設定した。

本単元では、which を使って決められたものの中から自分が好きな物を選ぶ言い方を学習する。そこで、自分の持ち物から好きな色を紹介する活動や児童にとって身近なキャラクターの中から好きなものを選ぶ活動を通して、伝えたい気持ちを高めていきたい。

また、形容詞(cute, great, strong, coolなど)を用いて、友だちが好きな物への印象を伝えるようにする。ただ、質問して答えるだけでなく、答えに対して一言添えることで会話を繋げていきたい。

さらに、モデルスキットの動詞 want を like や have にすることで、多様ないい方があることを学ばせたい。言葉は単語の組み合わせで成り立っていることに気づかせ、英語で伝えられることを増やしていきたい。

木曜日のEータイムとEータイムLでプレスモールトークタイムを設定した。児童が話したい話題を考えてダートのシートにあらかじめ記入しておく。スキットから離れた話題を話す場を設定することで、自分が知っている言葉をつなげて積極的に英語を話す児童を育成していきたい。

また、以前より取り組んできたリピートによる聞き返しであるが、単語による聞き返しでなく、文単位で聞き返すようにする。例えば、I like red.に対してred?だけでなくYou like red?とする。IとYouを意識することで、より英語を話す感覚に近づけていきたいと考えた。

### 3 研究主題との関連

研究主題 『積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成』  
～4技能（5領域）のバランスのとれた育成～

#### 【仮説】

◎目標意識を持たせることで、英語でのコミュニケーションへの関心が高まるであろう。

【コミュニケーションに関する関心・意欲・態度】



#### 【手だて】

E・EL：自分の好きな色やキャラクターを話題にすることで、意欲的に会話する場を設定する。  
E・EL：既習の言い方を使って会話を繋げることで、英語を話すことの楽しさを実感させる。  
E・EL：たくさんの友だちと会話することで、会話の楽しさを味わわせる。

◎多様な聞く活動を取り入れることで、英語での音声に慣れ親しみ、類推して内容を聞く力が育つであろう。

【聞く】



E・EL：スキットだけでなく、既習の動詞・形容詞やキャラクターなどの固有名詞を入れ替え組み合わせることで、多様な言い回しを聞き取らせる。  
E・EL：相手の発話の聞き返しを重点的にを行い、聞く力を育てる。  
EL：絵本の読み聞かせにより類推して内容を聞き取る力を身につけさせる。

◎くり返し英語を話す活動を取り入れることで、英語での言い方を理解し、自分の考えや気持ちを話す力が育つだろう。

【話す】



E・EL：スキットだけでなく、既習の動詞・形容詞やキャラクターなどの固有名詞を入れ替え組み合わせることで感情を伴った会話をさせる。  
E：たくさん話せることで、自信を持ち、もっと話したいという思いを高めることで話す力を育てる。

◎文字にふれる場面を多く設定すれば、児童が自然に読んだり、書いたりできる力が育つであろう。

【読む・書く】



E・EL：補充語句は絵だけではなく、文字も表記する。また、スキット、補充表現を掲示することで、文字にふれる機会を多く設定する。

### 4 単元計画

#### (1) スキットの系統性

本単元のスキット 2年11月 “Which paper do you want?”	重点補充表現	補充語句
A: Which paper do you want? B: I want the red one. A: OK, here you are. B: Thank you.	What <b>color</b> do you <b>like</b> ? What <b>color</b> do you <b>have</b> ? What <b>character</b> do you like?	色の名前 キャラクターの名前 形容詞 cool/cute/beautiful/ great/colorful 大きさ(large,small など)



5年6月 注文	5年10月 注文
A : Which club are you in? B : I am in the cooking club. How about you? A : I am in the table tennis club. B : Oh, I see.	A: Which is longer, the Shinano river or the Nile river? B: The Nile river is longer. A: Yes, that's right. Which is taller, Tokyo tower or the Eiffel tower? B: The Eiffel tower is taller. A: No, Tokyo tower is.



中学1年生「TOTAL ENGLISH」 Lesson 8 「シャンプーとコンディショナー」 A: Which one is the shampoo? B: This one is. A: Right! How do you know? B: The shampoo bottle has small bumps. A: Oh! It's like Braille!
---

(2) 目標及び評価規準

観点	単元の目標	単元の評価規準	週	1	2	3	4
関心・意欲・態度	・色の名前や欲しいものを伝える言い方にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとする。	・色の名前や欲しいものを伝える言い方にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとしている。	評価機会				○
話す(発表)	(本単元では扱わない)			/	/	/	/
話す(やりとり)	・リズムやイントネーションをまね、色の名前や欲しいものを伝える言い方を話すことができる。	・リズムやイントネーションをまねて色の名前や欲しいものを伝える言い方を話すことができる。			○	○	
聞く	・色の名前や欲しいものを伝える言い方にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。	・色の名前や欲しいものを伝える言い方にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。		○			
気づき	(本単元では扱わない)			/	/	/	/
読む				/	/	/	/
書く			/	/	/	/	

(3) 指導評価の計画

	1週	2週	3週(本時)	4週
週の目標	・色の名前や欲しいものを伝える言い方にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。【聞く】	・リズムやイントネーションをまね、色の名前や好きな色を伝えることができる。【話す・やりとり】	・リズムやイントネーションをまね、色の名前や持ち物の色を伝えることができる。【話す・やりとり】	・好きな色やキャラクターを伝える言い方にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとする。【関・意・態】
	【ふれよう】	【慣れよう】	【慣れ親しもう】	【楽しもう】
	あいさつ・Song (Rainbow)・DVD視聴			
E タ イ ム	○今月のスキット (モデルスキット) A: Which paper do you want? B: I want the red one. A: You want red? B: Yes. A: OK, here you are. B: Thank you	○重点補充表現① A: Which color do you like? B: I like red. A: You like red? B: Yes. How about you? A: I like blue. B: You like blue? A: Yes.	○重点補充表現② A: Which color do you have? B: I have pink.. I have a pink pencil case. A: You have a pink pencil case? B: Yes. A: Oh, it's cute. B: Thank you.	○重点補充表現③ A: Which character do you like? B: I like Pika-chu. A: You like Pika-chu? B: Yes. A: Oh, cute. B: Thank you.

○欲しい色の色紙を聞いたり、答えたりする会話練習 【聞】(観察)	○好きな色を聞いたり、答えたりする会話練習	○持ち物の色を答えたり、その持ち物の印象を答えたりする会話練習 【話や】(観察)	○好きなキャラクターを答えたり、そのキャラクターの印象を答えたりする会話練習
月曜日：フリートークダーツタイム ※グループで円になり、フリートークダーツ(話題が書かれているダーツ)で会話をする。一人が質問をして、他の児童が答える。質問をする人を順番に変えていく。		木曜日：プレスモールドーツタイム ※グループで円になり、プレスモールドーツ(児童が考えた話題を集めたダーツ)で会話をする。一人が質問をして、他の児童が答える。質問をする人を順番に変えていく。	
ふり返り・あいさつ			
1. あいさつ    2 Song    3. 本時のめあてと学習の流れの確認			
E タ イ ム L	4. Practice ・スキット (補充語句表現①) 補充語句 (色) 5. Joyful Time Finding the Color Game 6. “What color do you like?” Game 好きな色は何か質問する。 【話や】(観察・パスポート) 7. “Red is an apple”を歌う。 8. “いろいろかくれんぼ”の絵本の読み聞かせ。 9. フリートークダーツ		4. Practice ・スキット (補充語句表現③) 補充語句 (注意して発音するものを中心に行う。) 5. Joyful Time Which☆Which☆dart 6. “What character do you like?” Game 友だちの好きなキャラクターは何か質問する。 【関】(観察・パスポート) 7. “Red is an apple”を歌う。 8. スモールトークダーツ
ふり返り・あいさつ			

5 本時の展開 (第3週)

- (1) 目標 リズムやイントネーションをまね、色の名前や持ち物の色を伝えることができる。【話す・やりとり】  
(2) 展開 E-タイム 第2学年○組

時間	学 習 活 動	学 習 内 容	指導上の留意点 (・指導【評価】)												
1'	1 あいさつをする。	・あいさつ	・あいさつとともに、いくつかの質問をし、既習の内容の定着を図る。												
1'	2 ”Rainbow”を歌う。	・学習内容に関連した歌	・振り付けを交えて歌うことで、歌の内容のイメージを持たせる。												
1'	3 単語や表現の練習をする。	・スキット ・補充語句 (物の名詞、形容詞) ・重点補充語句	・正面を向いて教師と対話を繰り返し、重点補充表現の定着を図る。 ・自由に自分の持っている色、その色を持つ持ち物を答えさせる。 ・既習の身近な持ち物の名前・形容詞を復習する。												
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">A: Which color do you have?</td> <td style="width: 50%;">B: I have pink. I have a pink pencil case.</td> </tr> <tr> <td>A: You have a pink pencil case?</td> <td>B: Yes.</td> </tr> <tr> <td>A: Oh, it's cute.</td> <td>B: Thank you. Which color do you have?</td> </tr> <tr> <td>A: I have blue. I have blue T-shirt.</td> <td>B: You have a blue T-shirt?</td> </tr> <tr> <td>A: Yes.</td> <td>B: Oh, it's cool..</td> </tr> <tr> <td>A: Thank you..</td> <td></td> </tr> </table>				A: Which color do you have?	B: I have pink. I have a pink pencil case.	A: You have a pink pencil case?	B: Yes.	A: Oh, it's cute.	B: Thank you. Which color do you have?	A: I have blue. I have blue T-shirt.	B: You have a blue T-shirt?	A: Yes.	B: Oh, it's cool..	A: Thank you..	
A: Which color do you have?	B: I have pink. I have a pink pencil case.														
A: You have a pink pencil case?	B: Yes.														
A: Oh, it's cute.	B: Thank you. Which color do you have?														
A: I have blue. I have blue T-shirt.	B: You have a blue T-shirt?														
A: Yes.	B: Oh, it's cool..														
A: Thank you..															

2'	4 号車ごとにペアになり。何色を持っているかたずね合う。(場1) ・会話とともに、持っている物を見せて、お気に入りの色であることを伝える。 ・会話が終わったら合図でペアを交代する。	・買い物をするときの会話 ・スキット ・補充語句 ・重点補充語句	・各自お気に入りの持ち物を手さげに入れて用意させる。 ・自分の持ち物を使うことで、より児童の思いを英語で話す場の設定をする。 ・友だちの持ち物を見て自分の思いを伝えることができているか確認し、できていたペアを称賛する。 【話・や】リズムやイントネーションをまね、色の名前や持ち物の色を伝えることができている。(観察)
3'	5 グループで円になり、スモールトークダーツをする。(場2)	・既習の表現	・あらかじめ、児童が話したい話題をダーツに記入しておく。 ・会話をつなげられるように、話題の印象を伝えるように促す。
1'	6 本時の学習をふり返る。	・本時のねらいにそったふり返り。	・めあてにそって会話ができなかった児童や、会話をつなげられた児童を紹介し称賛する。

・場の設定



